



## ゲノム医学：ゲノム情報を活かす医療のために

Tom Strachan, Judith Goodship, Patrick Chinnery著. -- メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016.

REVIEWER

医学研究科社会健康医学系専攻  
M1

### ゲノム医療の最新知見を得ることができる質の高い良書です

医療の現場では絶えず最新情報が生産されています。このため最新知見を得る努力を日々惜しまないことは我々医学を志す学生にとって極めて重要な学習姿勢です。

本書はゲノム医学、ゲノム医療の最新の情報を全11章(1～3章は基礎、4～6章は原理、7～10章に仕組み、最後11章に倫理へ言及)に分けてオールカラーで図や写真を使いながら説明されている2017年1月時点で最新の教科書です(2016年3月24日発行)。2014年9月に実施された加齢黄斑変性患者へのiPS細胞(誘導多能性幹細胞induced pluripotent stem cell)投与による臨床応用試験に関しても本書に記載されています(9章p356BOX9.2、p379本文)。周知のことですが、今後iPS細胞は臨床応用への可能性が大いに期待されています。京都大学で医学を学ぶ皆さんには是非学習に役立ててほしい教科書です。

遺伝学、ゲノム学を扱った教科書には、「細胞の分子生物学」「ヒトの分子遺伝学」といったゴールドスタンダード(いわゆる超ロングセラー)があり、数年毎に内容が改訂され最新の内容に刷新されています。「ヒトの分子遺伝学」(メディカル・サイエンス・インターナショナル)と読み比べてみて、本書(「ゲノム医学」)の質の高さを評価するとすれば、本書は基礎から臨床まで確実に網羅している点だと思います。

(裏へ続きます)

491

69

St 8

医図開架

⇒⇒⇒

具体的には、本書p92には色素性乾皮症の皮膚所見やウエルナー症候群患者の10代と50代の写真を比較した老化の加速所見が掲載されていますし、p144には筋強直性ジストロフィーの3世代家族の写真が、承諾の下に掲載されているといったように、臨床疾患の貴重な写真が掲載されていることです。これらの貴重な写真はウェブ検索では見ることができませんし、イメージしながら学習する上で、二度と忘れないくらいに強烈なインパクトがある臨床写真だと思います。

基礎と臨床の最新知見を貴重な写真と共に分かりやすくまとめた良質な新書として、研究室の先生から若い学生まで幅広い人を対象に遺伝学・ゲノム学の勉強に役立ててほしい良書です。

受理：2017-01-17